

高速電力線搬送通信設備作業班（第 10 回）に対する意見書

平成 29 年 11 月 10 日

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

1. PLC-J 提案に対する意見

工場あるいはモール等の商業施設は定まった閉鎖空間であり、既存のシステムの活用で十分に補える。今回の導入・制度化の必然性があるとは思えない。目に見えない電磁環境を益々悪化させるだけである。

加えて、工場あるいは商業施設の大きさ・高さ・広さ等の規模並びに配線引き回しも千差万別である。測定を考慮すると工場・商業施設は一つの巨大な E U T である。一つの巨大な E U T を平面的に測定して、シミュレーションを行い、それをもって導入・制度化を計ることに無理があると思われる。

日本アマチュア無線連盟としては、今回の提案による工場・商業施設への PLC 導入・制度化には同意できかねる。

2. 東京電力提案に対する意見

PLC の初期の検討段階から架空線による放射は問題視され、屋内の分電盤から内側の話としてこれまで進めてきた。

妨害波が放射されることが当たり前の架空線システムをなし崩しのような形で認めることはできない。

送電線は日本の全国いたるところに張り巡らされており、妨害波の拡散以外の何物でもない。

日本アマチュア無線連盟としては、この提案にはかなりの危機感を持っており、このようなシステム導入には断固反対する。